

News Release

2020年6月12日

米州開発銀行が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドへの投資について
債券投資を通じた社会貢献（新型コロナウイルス感染症対策支援）

MS&ADインシュアランス グループの三井住友海上あいおい生命保険株式会社（社長：丹保 人重）は、このたび米州開発銀行が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンド（以下「本債券」）へ投資しました。

サステナブル・ディベロップメント・ボンドとは、調達資金の用途が社会的課題の解決に資するものであることを前提に発行される債券です。

米州開発銀行は3月に、新型コロナウイルス感染症に対処する各国をサポートするために最大120億ドルの融資を行うことを発表しました。本債券の発行はこの発表に続くもので、国連の持続可能な開発目標（SDGs）のうち目標3「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」にフォーカスしています。米州開発銀行はこの融資により、「公衆衛生」「脆弱な立場に置かれた人々のセーフティーネット」「生産性と雇用」「経済的影響の軽減を図るための財政政策」の4つの分野を集中的にサポートします。

今回の投資は、収益性の確保のみならず、当社が持続可能な社会の形成に寄与し、社会貢献事業への支援も果たすもので、2016年度の「サステナブル・ディベロップメント・ボンド（世界銀行）」、2017年度の「インダストリアルライズ・アフリカ・ボンド（アフリカ開発銀行）」、2018年度の「ソーシャルボンド（国際協力機構）」、2019年度の「サステナビリティボンド（鉄道建設・運輸施設整備支援機構）」に続くものです。

<投資の概要>

発行体	米州開発銀行
投資額	5,000万オーストラリアドル（36億円相当※） ※1オーストラリア・ドル=71.5円で換算
格付け	スタンダード&プアーズ：AAA /ムーディーズ：Aaa /フィッチ：AAA
償還日（期間）	2030年6月11日（約10年）
アレンジャー	大和証券株式会社

MS&ADインシュアランス グループは、「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支える」ことを経営理念に掲げ、中期経営計画において2030年に目指す社会像を「レジリエントでサステナブルな社会」とし、その実現に向け、SDGsを道しるべとして取り入れています。あらゆる事業活動において環境や社会との相互影響を考慮し行動することを通じて、企業価値の向上を図るとともに、持続可能で強くなやかな社会づくりに貢献していきます。

三井住友海上あいおい生命は、今後もMS&ADインシュアランス グループの経営理念に則り、投融資、金融商品・サービスの提供等、事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献してまいります。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

